

法制審議会ハーグ条約（子の返還手続関係）部会第6回会議

平成23年10月28日

ハーグ条約を実施するための子の返還手続等の整備について

### 面会交流援助経験者としての意見

公益社団法人家庭問題情報センター

面会交流援助部長 山口恵美子

- 1 はじめに
  - ① 国内事例に基づく実務的、限定的見解
  - ② 三者関係（父母子）のダイナミズム 事例の個別性
  - ③ 子どもにとっての離婚体験と虐待体験の類似性
  - ④ 最重要課題は早期解決
  
- 2 連れ去り事件における新しい環境への子どもの適応
  - ① 子どもに対する別居（連れ去り）の影響
  - ② 子どもの適応力、成長力
  - ③ 別居（連れ去り）先の環境の良否との関係
  
- 3 常居所返還への子どもに与える重大な身体的、精神的危険
  - ① 連れ去りの繰り返しとの類似点、相違点
  - ② 同居親からの分離不安と子どもなりの納得の必要性
  - ③ グレイゾーンへの不安と見通し付与の必要性
  
- 4 子の返還拒否の意思を考慮するに適する年齢、成熟度
  - ① 子どもの意見表明と安全性の保証（子どもの本音）
  - ② 成熟度と年齢不相応な過熟（帰責性）
  - ③ 年齢に対する配慮（意見表明権）